

ホット・情報

令和4年1月31日



お
麻

み
績



更なる飛躍へ
塚原村政スタート

人口 2,580人(男 1,245人 女 1,335人) 世帯数 1,092戸(R4.1.1現在)

広 報
No.153

2~15

議会だより
No.143

16~23

村のホームページアドレス



麻績 広報

No.153

発行 麻績村
編集 村づくり推進課
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

表紙写真
塚原勝幸村長 初登庁

☆村長就任挨拶	2
☆村長退任挨拶	4
☆麻績日記	5
☆各課からのお知らせ	6
☆防災コラム等	9
☆全国学力・学習状況調査	10
☆観光情報等	11
☆健康と福祉のひろば	12
☆関係機関からのお知らせ	14

村長就任挨拶

塚原 勝幸

心ときめく麻績村を目指して



この度は、多くの皆様方の温かいご支援をいただき、村政を担わせて頂くこととなりましたことに心より御礼申し上げます。

また、村政発展を第一に考え3期12年にわたり、村づくりを推進してこられた高野忠房村長の後任として、

日々その重責を痛感しております。麻績村の新たな発展と村民皆様の信頼と期待に応えられるように、全身全霊で取り組んでいく覚悟でありますのでよろしくお願ひ致します。

さて、社会経済や日常生活に大きな影響をもたらしております新型コロナウイルス感染症につきましては、一時感染者数の減少により収束の兆しも見えましたが、思わぬ新変異株の出現によ

り今後の不透明な状況に不安を感じているところですが、感染防止対策の徹底や地域経済回復に向けた支援策等を積極的に進めて参りたいと存じます。

また、地方においては少子高齢化、過疎化が進み、人口減少に歯止めが掛からず課題となっております。少しでも人口減少率を緩やかにするため、各種施策の推進を図りたいと考えております。

その対策として選挙公約で申し上げてきましたが、特に若者定住施策の促進や

移住機会の創出により子育て世代を増やし、子ども達の声が響き渡る活気に満ちた活力ある地域づくりを進めます。また、子育てを支援する保護者の負担軽減を図り、子育てしやすい村・教育環境の充実した村を目指して参ります。

そして、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で自分らしさを保ち健康で生きがいを持って暮らせる福祉の充実、障がい者の皆さんが安心して過ごせる環境整備の促進、商工業や農業経営の振興、観光事業の更なる推進、生活環境の整備や防災対策の強化促進、効率的な行政運営に向けたデジタル技術やデータ活用の推進などを「実行・前進」させて参ります。

近年の自治体運営は、複雑・多様化しており、その課題解決には、近隣市村との友好連携の強化も必要不可欠と考えます。透明性の高い村民に開かれた質の高い村政運営も進めて参ります。



今後、政策実現に向けては財政問題等多くの課題がありますが、限られた資源を有効に活用して職員と共に全力で事業の具現化を図り、「麻績村に住んでいて良かった」、「麻績村に行くと住みたい」、「麻績村にずっと住み続けたい」と思える魅力に満ちた村づくりの推進を図って参りたいと存じます。

村民皆様方のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。村長就任の挨拶と致します。

更なる飛躍を！ 心ときめく麻績村へ！

実行と前進



▲麻績村の玄関口(交通網に恵まれた麻績村)

①若者定住施策の促進と子育て・教育環境の充実

- 都市圏からの移住定住を促進
相談会開催やお試し住宅の活用
- 若い人が定住できる住宅整備の推進
- 胎児期から学童期、中高生までの各種支援の充実
新生児検査費用や給食費などの負担軽減
- 保小中一貫教育の推進
保育園・小学校・中学校の交流
- ICT教育の推進と教育環境の充実



▲元気な子どもたち(麻績小学校運動会)

④安心安全で利便性に富んだ生活環境の整備

- 災害に強い各種防災対策の推進
危機管理体制の強化(ハード面、ソフト面)
地域防災組織の強化と防災意識の高揚
- 生活道路環境や橋梁整備の促進
主要村道の大型車対応
- 利便性の高い村営バス運行の推進



▲土石流に備えての砂防ダム
特殊工法で構築される芦澤川堰堤

②高齢者や障がい者に優しい福祉の充実

- 健康支援体制や各種予防事業の充実強化
- 高齢者福祉施設(福祉センター)の整備と利用促進
- 地域包括ケアシステムの推進
- 障がい者の就労施設や支援施設の充実と生活拠点施設の取組み

③地域産業の基盤強化と観光事業の振興

- 地域産業の活性化・商工業の体質強化
各種農業施策の推進(農業基盤など)
商工業者への各種支援強化
- 聖高原駅前の総合的な検討と整備の促進
- 新規就農者・農業後継者への支援強化
各種制度の拡充、支援体制の整備
- 観光施設の整備と効率運営
新たなニーズへの対応、運営の効率化
- 地域資源を活用した広域観光の推進
聖山高原県立公園の保護と利活用
新たな観光商品開発の取組み



▲トレイルランニングには全国からランナーが参加
(出発決勝となるシェンガルテンおみ)

⑤安定した健全な行財政運営と村民参加の村づくりの推進

- 近隣市村との友好連携の強化
- 情報公開と透明性の高い村民参加の村づくり
ホームページの充実、村政懇談会開催
- デジタル改革に向けた行政事務の効率化
健全財政の維持と行政改革の推進
職員・スタッフの資質向上

村長退任挨拶

高野 忠房

感謝の気持ちでいっぱいです



平成22年1月に就任して以来3期12年間、村民皆様を始め多くの皆様に格別なご支援を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

顧みまずと就任当時は過疎化・少子高齢化が急速に進み、児童生徒数の減少、農業後継者不足等による耕作放棄地の増大、過疎化高齢化による地域コミュニティの衰退など早急の対策が求められていました。

こうした課題を生んだ真の原因は「若者の減少」であり、これを解決に向かわせることが多くの課題解消につながる。と確信し、若者定住住宅の整備、教育・子育て環境の充実、安心安全の村づくり、健康長寿の村づくり、農業後継者育成など重点を

置いて進めて参りました。

お陰様で重点事業は明るい成果が現れており、大変嬉しく思っております。

長いようで短くも感じた12年間、多くのことが脳裏をよぎって参ります。

平成22年には旧麻績小学校北校舎の保存が決まり、後に国登録有形文化財に指定されました。

平成23年には若者定住住宅建設開始、今日まで48棟が建設され174名が入居されています。麻績筑北両村学校統合検討会議開始、こちらは残念ながら実は結びませんでした。

平成24年には麻績小学校に特別支援学級「かたくり教室」開設、巣立った子どもたちは立派に成長しています。

平成25年には天皇皇后両陛下（現上皇皇后陛下）が麻績村に行幸啓、村長・議長がお食事に招かれ麻績についてのお話を申し上げました。



平成26年には新藤義孝総務大臣が地域おこし協力隊の先進地麻績村を訪問、隊員を激励されました。また明治期に構築された4堤の芦澤川石積堰堤群が国の登録有形文化財に指定され、新たな名所が誕生しました。

平成27年には本町地区での若者定住住宅に入居が開始、また長年の懸案でありました新たな野口橋が竣工しました。平成28年には寄贈された旧旅籠「花屋」を修復、江戸期の貴重な建物を残すことができました。

平成29年には東筑北部拠点校として麻績小学校にLD等通級指導教室が開設、

高度な指導体制が整いました。老朽化した第二公民館をテレワーク拠点併設の交流施設に改修できました。

平成30年には長年の懸案でありました聖湖畔の大型廃屋を解体撤去することができました。

令和元年には台風19号襲来、近年にない大きな被害が発生しました。

令和2年には全国で新型コロナウイルス感染症が拡大、各種対策が講じられ今日に至っています。桑山地区での新たな移住定住促進住宅の建設も始まりました。



令和3年には長年の懸案でありました新たな矢倉橋

が完成、村道高畑野口線改良に目途がつけました。またコロナ関連、防災関連の施設整備が大きく進展しました。暮れには村長選挙が行われ、現村政の継続を掲げた塚原勝幸氏が当選、今年1月塚原原村政がスタートしました。

記憶に鮮明に残るこうした事業や出来事の多くが村民皆様の熱意と、関係職員のご努力、関係機関の適切なご指導とご支援によって叶ったことであり、このことにも深く感謝申し上げます。

私が麻績村の行政に携わらせていただいたのは職員時代から42年間、最後は村長として村民皆様にお世話になり引退する今、身も心も清々しく感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は一村民として、麻績村の発展に微力を尽くすことができれば幸いです。どうか厚情を賜りますようお願い申し上げますと共に、村民皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。して退任の挨拶と致します。

麻績日記

ちびっこ消防団

発足式開催

第11期麻績村ちびっこ消防団発足式が11月12日役場駐車場で開催されました。

式の中では保育園の年長、年中32名が「避難訓練の歌」を元気な声で届けてくれました。また、最後は「火遊びしません、火の用心」の宣誓をして、ちびっこ消防団員として決意を新たにしました。

発足式の終了後は、保育園近辺の事業所を訪問しカレンダーを配布して火災予防を呼びかけました。



▲火遊びしません、火の用心

令和4年

消防団出初式開催

麻績村消防団の出初式が1月8日に地域交流センターで開催されました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため分列行進は行わず、規模を縮小し短時間で式典のみを行いました。



▲間隔をあけ短時間の開催

式典の中では団員の定例表彰を行い、日頃の献身的な活動を報いるとともに、功績を表彰しました。

また、式典の最後には団員の唱和を行い防災への決意を新たにしました。

東京・名古屋現地移住相談会再開される

新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年2月以来、約2年ぶりに現地での移住相談会が再開されました。



▲東京での出張移住相談デスク

人との接触をさけるためオンラインによる相談会を行ってきましたが、相談をする側、受ける側、双方それぞれの思いをリモートではなかなか伝えることができませんでした。

現地の移住相談員による「コロナ感染症が蔓延しているから地方へ移住したい」という方はほとんどいないが、地方の暮らしに興味

村の振興にご尽力

功労者表彰

麻績村の振興に多大なご尽力をいただいた皆さんの表彰が11月3日に行われました。



▲功労者表彰受賞者

自治功労章を受章された皆さんは次の通りです。

(五十音順)

市川 祥介さん (下田)

小山 福績さん (丸山)

滝澤 浩史さん (和合)

宮嶋 正さん (下井堀)

善行 (地域振興資金の寄贈) により表彰された方は

次の通りです。

飯森 喜八さん (東京都)

きみ子さん

令和4年

元旦祝賀式開催

昨年同様新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった元旦祝賀式が2年ぶりに開催され、関係者約80名が出席、新たな一年の訪れを祝いました。



▲新年の抱負を語る高野村長

各課からの お知らせ

令和3年中所得の
申告受付について
↳ 所得税の確定申告、
住民税の申告

◇期間

令和4年2月16日(水)
から3月15日(火)まで
(土・日曜日は除きます。)

◇時間

午前9時から午後4時まで
※平日に都合のつかない方
は、次の休日受付をご利用
ください。

・2月27日(日)

・3月13日(日)

両日ともに午前9時から
午後4時まで

◇会場 麻績村役場2階

◇担当 総務課税務係



■新型コロナウイルス等の
感染症拡大防止のため、
次の点についてご理解、
ご協力をお願いします。

- ①マスク着用・アルコール
消毒の徹底、検温の実施
- ②同時に入室できる人数の
制限【2名(組)】
- ③窓開けによる適度な換気、
パーテーションによる区
切り

④農業所得の収支、医療費
控除等のご自宅での取り
まとめ後の受付

△②に関連して、職員が
一日に受け付けられる人数
が限られることによる、
1名(組)あたりの受付時
間の短縮を図るため▽

期間中は大変混み合いま
すので、お時間に余裕をも
ってお出かけください。

マイナンバーカード
はお持ちですか？

マイナンバーカードはす
でに持ちますか？

持たないけれど申請の仕
方がわからない等、ご不明

なことがありましたら、役
場住民課へお問い合わせく
ださい。

また、新型コロナウイルスの
「接種証明」について
は、マイナンバーカードを
お持ちの方はスマートフォン
で「新型コロナワクチン
接種証明書アプリ」を取得
後に、接種証明書を取得す
ることができます。

◇お問い合わせ先

役場住民課

☎0263(67)4854



後期高齢者医療の窓
口負担割合の見直し
について

令和4年10月1日から、
後期高齢者医療被保険者の
うち、一定以上の所得があ
る方は、医療費の窓口負担
割合が2割になります。

被保険者の令和3年中の
課税所得や収入額をもとに、

世帯単位で判定され、該当
する方には「2割」と記載
された被保険者証が事前に
送付されます。

■2割負担の基準

「課税所得28万円以上」か
「年金収入+その他合計所
得金額が200万円以上」

※課税所得とは、住民税納税
通知書の「課税標準」の額

※年金収入には、遺族年金
や障害年金は含みません

※被保険者が2人以上の場
合は「年金収入+その他
合計所得金額の合計が3
20万円以上」

◇お問い合わせ先

長野県後期高齢者医療広
域連合

☎026(229)5320

役場住民課

☎0263(67)4854

古布類の資源物収集
再開について

現在、可燃ごみとして収
集している古布類ですが、

令和4年2月の第1土曜日
から資源物としても収集が
できるようになります。

■資源物としての出し方

緑色の資源物専用袋に入
れ、水が入らないようにし
っかりと袋口を縛って、毎
月第1土曜日にお出しくだ
さい。布が濡れますと商品
価値が落ちてしまいますの
で、屋根付きの収集場所に
出される際も必ず袋の利用
をお願いします。

なお、今後の社会情勢に
よっては、再び収集を中止
する場合があります。

■可燃ごみとしての出し方
大きな布でも、折りたた
むなどして可燃ごみ専用袋
に入れば裁断は必要ありま
せん。しっかりと袋口を縛
ってお出しくください。

◇お問い合わせ先

役場住民課

☎0263(67)4854



令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金(現金一括給付)について

村では「支給対象児童1人につき10万円を一括給付する」とし、支給対象者の皆さんには、令和3年12月中に支給に関するお知らせを通知しております。

なお、通知を送付した支給対象者の方は、令和3年12月17日現在で、平成15年4月2日以降に出生した児童を養育している者※です。

また、令和3年12月18日から令和4年3月31日までに出生する児童については、児童手当等の受付を確認後、お知らせを通知いたします。 ※令和3年10月1日以降に転入された方は転入前の市町村から支給となり、同日以降に転出された方は麻績村からの支給になります。

支給対象者に該当すると思われる方で、お知らせの通知が届いていない方は、住民

課へお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

役場住民課

特殊詐欺などに気をつけましょう

健康器具などの販売業者が電話や訪問するなどし、高額な商品を勧めるなどの事例が発生しています。

このように、電話などで言葉巧みに商品などの購入を勧められた場合は、すぐに返事をせず、ご家族などと相談し、必要でないものは、はっきりと断りましょう。怪しい電話や勧誘などには十分注意しましょう。

◇相談・お問い合わせ先

役場住民課

☎0263(67)4854

消費生活センターホット

ライン

☎188



移住定住促進住宅 入居者募集

村では、昨年度に引き続き桑山地区に村営住宅4棟の建設を行っております。

この住宅は、若者の移住定住促進を目的としているため、入居資格として以下の7つの要件すべてを満たす方が対象となります。

①村外から移り住む方、または、村内に移り住むためにすでに仮住まいをしている方

②現に同居し、または同居しようとする夫婦(婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方、その他婚姻の予約者も含む)である方

③入居時の世帯主の年齢が満45歳未満の方

④市町村税や地方公共団体の使用料等を滞納していない方で、家賃が滞りなく納付できる見込みのある方

⑤入居決定後は地域内での自治活動や、環境美化活動等地域活動へ参加できる方

⑥住宅敷地や周辺の草刈り、清掃等の維持管理を行うことができる方

⑦入居者、同居者、または同居しようとする親族が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員でない方



▲建設中の移住定住促進住宅

入居者の募集受付は、2月18日(金)正午までとなります。

◇お問い合わせ先

役場振興課

☎0263(67)4853

筑北地域共通燃料購入商品券を配布

原油価格の高止まり状態が続く、生活に欠かすことができない燃料が高騰しております。村では筑北村と共同し原油価格高騰による



生活等緊急支援として、住民一人当たり3,000円の燃料購入商品券を1月10日から郵送にて配布しましたので、ご活用ください。

◇対象者

令和3年12月1日現在麻績村に住居登録がある方

◇利用対象品目
ガソリン・軽油・灯油のみ

◇取扱店
麻績村・筑北村で営業している燃料取扱店(商品券の記載をご覧ください)

◇商品券利用期間
令和4年1月20日から令和4年3月31日まで

◇お問い合わせ先
役場村づくり推進課

☎0263(67)4851

麻績村職員の給与等の状況

◆人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (R3.1.1)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件费率 (B/A)
2年度	2,668人	3,370,416千円	106,217千円	475,391千円	14.10%

◆職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（令和3年4月1日現在）

区分	一般行政職		区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢		平均給料月額	平均年齢
麻績村職員	297,900円	43.1歳	長野県職員	335,200円	45.3歳

*公表が遅れているため、令和2年4月1日現在の数字です

◆一般職の給与費の状況（令和3年度当初予算）

区分	職員数(人) (A)	給与額(千円)			1人当たり給与費 (B/A)(千円)
		給料	手当	計(B)	
麻績村職員	43	161,844	88,391	250,235	5,819

◆特別職の報酬の状況（令和3年4月1日現在）

区分	麻績村給料月額	区分	報酬月額
村長	668,000円	議長	275,000円
副村長	555,000円	副議長	206,000円
教育長	505,000円	常任委員長	188,000円
		議員	186,000円



*期末手当支給割合（令和3年度）

- ・支給月数：6月期1.65月、12月期1.65月 計3.3月
- ・支給基礎額：報酬額を1.4倍

◆職員手当の状況（令和3年度支給割合）

区分	6月	12月	計
麻績村	期末手当 1.275月分	1.275月分	2.55月分
	勤勉手当 0.95月分	0.95月分	1.90月分
国	期末手当 1.275月分	1.275月分	2.55月分
	勤勉手当 0.95月分	0.95月分	1.90月分
長野県	期末手当 1.275月分	1.125月分	2.40月分
	勤勉手当 0.925月分	0.975月分	1.90月分

*麻績村と国は期末手当について令和4年6月に0.15月分減額予定

◆ラスパイレズ指数の状況

区分	麻績村	長野県	長野県町村平均
平成30年度	94.9	100.2	95.4
令和元年度	93.5	100.4	95.4
令和2年度	94.4	100.3	95.3
令和3年度	93.7	100.2	95.5

*ラスパイレズ指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数（国の地域手当を含まない比較）

◆行政職の級別職員数の状況（令和3年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事補及び主事	主任	主任及び主査	係長	課長	課長	
職員人数	4	8	11	6	4	2	35
構成比(%)	11.4	22.9	31.4	17.2	11.4	5.7	100.0

◆行政職以外の級別職員数の状況（令和3年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	合計
職員人数	0	0	0	0
構成比(%)				

◆部門別職員数の状況（令和3年4月1日現在）

区分	一般行政部門								特別行政部門	公営企業など			計
	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	商工	土木		教育	水道	下水道	
令和2年度	1	14	2	5	4	4	3	3	4	1	1	4	46
令和3年度	1	15	3	6	5	4	3	3	4	1	1	4	50
対前年増減	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4

*再任用職員含む

第19回 防災コラム



避難生活 ～心身にかかる負担に気をつけて～

避難所等への避難先に着いたら、ひとまず命に迫る危機からは逃げられたといえるでしょう。しかしながら住み慣れた住居以外での生活では、不安や心細さから、一夜を過ごすのも大変です。記憶に新しい県内各地を襲った台風19号災害では、すべての避難所が閉鎖されたのは発災からおよそ2ヵ月後。長期の避難生活を余儀なくされることになると、身体や心にかかる負担はさらに大きくなります。

◆健康管理を後回しにしないで◆

被災からしばらくの間は、家の片付けや新たな住まい探し、事務的な手続きなど、さまざまなことを同時に進めなければなりません。運よく避難生活から逃れられたとしても、被災した自宅ではゆっくりと体を休められないものです。そのような生活は心身ともに大変にもかかわらず、自身の健康管理はおろそかになりがちです。

被災時は体調を崩す人が多く、最悪だと命に関わる恐れもあります。まずは「しっかりと休むこと」が大切です。また、災害時に開設される健康相談の窓口なども積極的に利用しましょう。

体と心の健康を保つ上でも、人とのつながりは重要です。隣近所で励まし合うことができれば心強く感じられ、つらい時には頼ることもできます。

◆大事に考えたい「子どもの居場所」◆

避難生活が始まると被災した家の片付けにかかりきりになってしまうなど、子どもたちの世話に手が回らなくなります。災害の大小を問わず、子どもたちの脳裏には災害の恐怖が刻まれがちで、「心の傷」が残らぬよう適切なケアが必要と言われます。

長野市のNPO法人「ながのこどもの城いきいきプロジェクト」では、今年の台風災害直後、避難所の一つだった北部スポーツ・レクリエーションパークに子どもの居場所を開設。可能な限り日常的な生活を保ち、安心して過ごせるよう活動しました。子どもたちが多い地域ではそうした場所を設けるようにしておくことも重要です。

同プロジェクトは「普段から災害時に対応できる乳幼児向けの食事を備えておく必要があると感じた」とも。子どもへの目配り・気配りの重要性を認識し、大人が交代で子どもたちを見守るなど、あらかじめ地域の中で考えておく必要があります。

◆情報の取捨選択◆

実際の避難者からは「行政からの事務手続きの方法など、さまざまな連絡事項を書いた紙が次々に張り出され、自分にとって必要な情報を選択するのが難しかった」（長野市生活支援・地域ささえあいセンター）との声があります。不明な点があれば、避難所を運営する行政機関などに積極的に問い合わせを。

災害義援金についてお知らせ

社会福祉協議会、役場などにおいて受付をしておりました「災害義援金」を令和3年12月末で集計させていただいたところ、以下のとおりとなりました。



義援金名称	義援金額(円)
令和元年8月豪雨災害義援金	3,055
令和元年台風15号千葉県災害義援金	65,055
令和元年台風19号災害義援金	344,122
令和3年7月大雨災害義援金	18,432

多くの皆様のご協力ありがとうございました。

義援金は、日本赤十字社長野県支部を通じ被災者の方々の支援に使わせていただきます。

引き続き、義援金の受付を継続しておりますので皆様のご支援をお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

令和3年度に実施された「全国学力・学習状況調査」の麻績小学校(6年生)と筑北中学校(3年生)の結果をお知らせします。

麻績小学校

〈学力調査結果〉

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	平均正答率は県平均を上回り、全国平均をやや下回りました。	「話すこと・聞くこと」が全国平均をやや上回り、「書くこと」が全国平均を下回り、「読むこと」が、全国平均をやや下回りました。	ある程度長い文章を効率よく読み取る学習に重点をおき、対話を通して自らの考えをまとめ整理することで、「書くこと」も含めて伸ばしていく。
算数	平均正答率は県平均と全国平均を上回りました。	「数と計算」「測定」が全国平均を大きく上回り、「変化と関係」「データの活用」で全国平均をやや上回り、「図形」は全国平均をやや下回りました。	これまでの取り組みを継続しながら、「図形」では5学年の内容について復習をするとともに、図を自分でかくことや色をつけるなどして、図形の見方や考え方を身に付けていきたい。

〈学習状況調査結果〉

- ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」という質問についての肯定的回答が、全国平均を上回る結果となりました。家庭や地域で、子ども達を温かく見守り、ふるさとを愛し大切にしようとする心情の醸成が十分になされていることが伺われます。
- ・「1日当たり読書を30分以上している」という割合は50%を超え、全国平均を上回りました。「2時間以上している」という割合も高く、家庭での読書が充実していることがわかります。
- ・平日の家庭学習の時間については、全国平均よりもかなり短いという結果になりました。また、1日当たりのゲームの時間や就寝時刻が不規則であるという割合は、全国平均を上回る結果となりました。平日の帰宅後の生活が課題であると考えられます。
- ・「自分にはよいところがあると思うか」「将来の夢や目標をもっているか」の質問で肯定的な回答がいずれも全国平均よりも少なく、自己肯定感が低い児童が多いことが課題と考えられます。自らのよさを自覚したり、将来の夢や希望について考えたりして、自己理解を深める学習の場を工夫していきたいと思います。

筑北中学校

〈学力調査結果〉

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	全国の正答率と比較して、やや上回りました。	「話すこと・聞くこと」が全国平均を大きく上回り、「書くこと」「伝統的な言語文化に関する事項」がやや上回り、「読むこと」がやや下回りました。	交流型学習の質を高める(主体的・対話的で深い学び)授業実践により、「読むこと」の力を伸ばしていく。
数学	全国の正答率と比較して、やや下回りました。	「関数」が全国平均をやや上回り、「図形」「資料の活用」がやや下回り、「数と式」が下回りました。	交流型学習の質を高める(主体的・対話的で深い学び)授業実践により、「図形」「資料の活用」「数と式」の力を伸ばしていく。

〈学習状況調査結果〉

1. 生活に関わること

読書や新聞を読む生徒が、全国平均より高い傾向にあります。休日3時間以上家庭学習をしている生徒は全国平均より多く、平日2時間以上家庭学習をしている生徒は少ない傾向にあります。携帯やスマホについては、家人との約束を守っている生徒は、全国平均よりも少ない傾向にあります。平日の家庭学習時間の確保と、携帯やスマホの扱いが今後の課題と考えます。

2. 学習に関わること

「各教科の学習が好き、授業内容が分かる」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友達と話し合う時、話を最後まで聞く」と答えた生徒が多く、主体的・対話的で深い学びへの授業改善の成果が見られます。新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校時、分からない課題を自ら調べた生徒が多くいましたが、自分で計画を立てて勉強する生徒、問題の解き方が分からない時は諦めずにいろいろな方法を考える生徒は多くなく、自律的に学ぶこと粘り強く学ぶことが今後の課題と考えます。

3. 自分や集団に関わること

「将来の夢や目標を持っている」「自分で決めたことは最後までやり遂げる」「失敗を恐れなくて挑戦する」「学校に行くことや友達と協力するのは楽しい」と答える生徒が多く、前向きに生活を送る様子が伺えます。「思っていることを言葉で表すことが苦手」と感じる生徒が多いのが課題と考えます。

観光情報

聖高原スキー場からのお知らせ

聖高原スキー場は12月29日にオープンし、週末は家族連れなどでにぎわっています。昨年度に引き続き、無料休憩所の換気を行うなどの感染症対策を行っておりますので、体調等ご留意のうえお越しく下さい。



また、今シーズン予定している催しは次のとおりです。
・第24回聖高原スノーフェスティバル

令和4年2月27日(日)

◇お問い合わせ先

麻績村観光協会

(聖高原観光案内センター内)

☎0263(67)2133

選挙管理委員会から

村長選の結果について

任期満了に伴う麻績村長選挙は昨年12月19日に執行され、塚原勝幸氏が当選されました。

今回の村長選挙は平成21年12月以来12年ぶりの選挙となり、投票率は79・65%と前回選挙より8%ほど下回る結果となりました。

期日前投票は4日間という短い期間でしたが、投票者数全体の6割を超えるものでした。

当日有権者数	2,275人
投票者数	1,812人
投票率	79.65%
期日前投票者数	1,093人
当日投票者数	719人

選挙公報について

選挙の候補者の氏名・経歴・政見などを記載した「選挙公報」は、村長及び村議会

議員選挙の際は、条例で定めるところにより村選挙管理委員会が発行しています。その配布方法は従来区長を通じてお願いしています。(一部の方へは直送)

村長選や村議会選については期日前投票期間が4日間と短いため、期日前投票所(役場)にも備え置きをしていますが、投票される方が容易に入手することができると、以後の選挙において配布以外の補充方法についても検討していく予定です。

選挙管理委員長の変更

平成29年7月から麻績村選挙管理委員会委員長として在職した宮嶋正氏が、一身上の都合により退職したため、新たに立花基宏氏が選挙管理委員会委員長として就任しました。

なお欠員となった選挙管理委員会には飯吉達雄氏が就任しました。

現委員の任期は今年の10月10日までとなります。

麻績村新型コロナワクチン3回目追加接種について

1. 対象者・接種間隔・接種回数

2回目接種完了から原則6か月以上経過した、接種当日に18歳以上の人で、接種回数は1回です。

2. 接種開始日

65歳以上の方 令和4年1月30日から

64歳以下の方 令和4年2月20日から

※接種間隔の間違い接種を防ぐため、あらかじめ、接種日を指定して通知いたします。

接種日を変更されたい方、3回目接種を希望されない方は、通知内容をご確認のうえ、通知に記載されている専用ダイヤルまでご連絡ください。



3. 使用するワクチン

追加接種に使用するワクチンは、1、2回目に用いたワクチンの種類に関わらず、メッセージRNAワクチン(ファイザー社製と武田/モデルナ社製)を用いることが適当とされており、メッセージRNA同士の交差接種も可能となっています。

今回使用するワクチンについては、全国一律の割合で国から配分され、武田/モデルナ社製も多く配分(配分量45%)されるため、接種日に用意できるワクチンでの接種をお受けいただくよう、お願いします。

健康と福祉のひろば

インフルエンザ予防接種 補助金申請について

村では、65歳以上の方及び生後6か月から18歳（高校3年生）の方で、令和3年10月1日から令和4年1月31日までの間に、麻績村・筑北村以外の医療機関でインフルエンザ予防接種を受けられた方に、接種料金の補助を行っています。

なお、麻績村・筑北村の医療機関で接種された方については、医療機関での支払い時に、補助額を差し引いた、個人負担額を請求しているため、申請は不要です。

申請が必要な方で、申請手続きがお済みでない方は、早めの手続きをお願いいたします。

【申請締切】

令和4年3月31日（木）申請書類については、役場住民課窓口を設置のほか、村ホームページからもダウンロードできます。

昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日生 の男性の方へ

風疹抗体検査予防接種は お済みですか

風疹は感染力が強く、妊婦さんが風疹にかかる、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。感染拡大を防ぐには、社会全体が免疫を持つことが重要です。そこで、風疹ワクチンの公的な接種機会がなかったため、抗体保有率が他の世代に比べて低い、昭和37～53年度生まれの男性に、風疹抗体検査・予防接種（抗体検査結果、十分な量の抗体がなかった方に限る）の無料実施を行っています。補助期間は、従来の令和4年3月末から、3年延長し、令和7年3月末までとなります。この機会を逃すことなくお受けください。

令和3年度 がん検診等実績報告

今年度実施した各種がん検診につきまして、受診者数ならびに希望者に対する受診率は左表のとおりです。

例年、胃がん検診の受診率は約5割となっていました。今年度は、約6割の方が検診を受診しました。令和4年度のがん検診希望調査におきましても、日程や検診内容をご確認の上、お申し込みください。

検診／検査名		受診者数	受診率 (対希望者)
肺がん・結核	胸部レントゲン	106人	74.6%
	肺CT	168人	85.0%
胃がん		83人	61.0%
大腸がん		289人	84.3%
子宮頸がん		92人	71.9%
乳がん	マンモグラフィ	59人	88.0%
	超音波	67人	66.3%

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止にご協力お願いします

これからの感染予防について、もう一度ご確認ください。

- ①最近「これくらいなら大丈夫だ」と、人の距離が近くなっていませんか？
- ②消毒や手洗い、うがいをうっかり忘れてしまうことが増えていませんか？
- ③自分が元気なら、人にうつさないと思っていませんか？
- ④マスクをしていれば、換気や加湿は必要ないと思っていませんか？
- ⑤「自分は大丈夫」「あの人は大丈夫」と思っていませんか？

発熱等があり心配な時は、

重症化を防ぐために、早めに医療機関に相談・受診しましょう。

まずは、かかりつけ医等身近な医療機関にご相談ください。

かかりつけ医がない、土日祝日の場合は、下記へご相談ください。

受診・相談センター 松本保健所 ☎0263-40-1939 (24時間電話受付中)



令和4年度 各種検(健)診希望調査実施のお知らせ

がんの早期発見・早期治療、生活習慣病予防のために、検(健)診を受けましょう!

令和4年4月からの1年間に村で実施する、がん検診・結核検診、がんリスク検査、若者健診、すこやか後期高齢者健診の受診希望調査を行っています。

調査票は各地区の保健補導員を通じて各家庭へ配布されています。受診を希望する方は、調査票を提出用封筒に入れ、地区保健補導員または保健センターへ提出してください。

各種検診等の対象・詳細は、希望調査票に同封の「令和4年度に村で実施する検(健)診・検査について」をご覧ください。

提出期限：令和4年2月18日(金)まで

※1月6日以降に転入された方で、受診をご希望の方は、保健センターへご連絡ください。

村で実施するがん検診では、
費用の約5～7割について村から補助が受けられます。

例：令和3年度は、肺がん・結核検診(胸部レントゲン検診)料2,360円のうち1,760円を村が補助し、600円で受診できました。

65歳以上の方へ 結核検診のお願い

胸部レントゲン検診は、肺がん検診と結核検診を兼ねています。新たに結核が判明した人の約7割を65歳以上の方が占めています。65歳以上の方は、ご自身の健康のため、大切な家族や地域への感染のまん延を防ぐためにも、積極的に受診して下さるようお願いいたします。

20歳から39歳の方へ 若者健診のお勧め

令和3年度若者健診の、対象者に対する受診率は9.6%で、約10人に1人の方が受診しました。これは、新型コロナ流行前の令和元年度の7.9%と比較しても上昇しており、健診受診に関心を持つ方が増えてきています。

ご自身の生活を振り返るきっかけとして、この機会にぜひ受診してみたいはいかがでしょうか。

献血のお願い

麻績村では左記の日程で献血を実施いたします。少子化で献血をしてくださる方が減っている中、今後の安定供給のためにも、特に若い世代、20代から30代の方の献血へのご協力が重要です。また、一度献血をしていただいた方の再度の献血も、安全な血液の確保に欠かせません。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、献血をしてくださる方が大幅に減っています。献血車は、感染予防対策を実施しています。ぜひ献血にご協力ください。

Q 献血によってどれくらいの方が救われているの？

A 全国で1日約3,000人、1年間で約120万人のいのちが輸血によって救われています。それを支えるためには、毎日約13,000人の献血が必要です。

◇日時 令和4年3月18日(金)

午前9時30分から

11時30分まで

◇場所 役場駐車場

◇受付 役場村民ホール

関係機関からの お知らせ

国民年金付加保険料 制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされる制度です。



付加保険料を納めるためには、申し込みが必要であり、申し込みをした月分から付加保険料を納めることとなります。

お手続きをご希望の方は、役場住民課または松本年金事務所へ速やかにお申し出ください。

◇お問い合わせ先

松本年金事務所

☎0263(31)5150

年金相談・お手続き の際はぜひご予約を

日本年金機構の全国の年金事務所では、年金相談や年金請求手続きについて、「事前予約」を行っていただきます。お待たせ時間の少ない「予約相談」をぜひご利用ください。

●予約希望日の1か月前から前日まで受付しています。

●お申込みの際は、基礎年金番号のわかるものをご用意ください。

予約の方法は全国共通の予約電話または松本年金事務所へお電話ください。

◇お問い合わせ先

予約電話

☎0570(05)4890



令和4年度 長野県シニア大学 学生募集のご案内

長野県シニア大学では、新年度の学生を募集します。生きがいと健康づくり、地域活動を積極的に行うための学習について、3講座からなる多彩なカリキュラムが用意されています。

◇入学資格

おおむね50歳以上、学習意欲旺盛、積極的に地域活動を目指す方。(過去にシニア大学(老人大学)を卒業された方も入学できます)

◇学習期間及び学習時間

受講年限は2年間、年間学習日数は約16日間。学習時間はおおむね午前10時から午後3時までの1日4時間

◇学習内容

教養講座、実技・選択講座、社会活動講座

◇募集人員

130名

◇授業料

年間1万2千円、別途教材費、自治会費などの費用が必要です。

◇受講会場
松本合同庁舎・松本市総合社会福祉センター

◇募集案内・願書配布

松本学部事務局(松本保健福祉事務所福祉課内)または麻績村役場住民課

◇申し込み方法

松本学部事務局または麻績村役場住民課まで願書をご提出ください。

◇募集期間

令和4年3月25日(金)まで

◇お問い合わせ先

松本学部事務局(松本保健福祉事務所福祉課内)

☎0263(40)1912

令和4年度に採用する 特別養護老人ホームの 職員を募集

◇募集職種

看護職員・生活相談員・介護職員

◇選考方法・選考日

面接による選考を随時実施

◇募集期間

令和4年2月25日(金)まで

◇資格要件等

・普通自動車免許があり、各職種に必要な資格を有する者(令和4年3月末までに取得見込みのものを含みます)

・学生は令和4年3月末までに卒業見込みの人に限ります。

◇勤務場所

東筑摩郡(麻績村・山形村)、塩尻市、松本市、木曾郡にあるいずれかの組合施設

◇申し込み方法

組合各施設および事務局(特別養護老人ホーム桔梗荘内)または組合ホームページ

(<http://aohato.com/>)にある申込書に記入の上、事務局にご提出ください。(詳細は組合ホームページを参照してください)

◇お問い合わせ先

松塩筑木曾老人福祉施設 組合事務局

☎0263(53)5000

「令和4年度 自衛官等」募集案内

防衛省では、下記の予定で特別職国家公務員「自衛官等」の受付及び試験を実施します。

試験種目	応募資格	受付期間	試験日
一般曹候補生	男・女 18歳以上33歳未満	3月1日～5月10日	1次：5月20日～29日 2次：6月17日～7月3日
自衛官候補生	男子 女子 18歳以上33歳未満	年間を通じ行っております。	受付時にお知らせします。
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	1次：4月11日～17日
	技能		

○詳細につきましては自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所にお問合わせいただくか、自衛官募集ホームページでご確認ください。

- ◆お問い合わせ先：自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所・広報センター「信濃」
松本市深志2-6-5 マルナカ深志ビル1F ☎0263(36)2787
- ◆役場担当課：総務課 ☎0263(67)4850

長野県特定(産業別)最低賃金のお知らせ

最低賃金制度は、最低賃金法に基づき、使用者は、その金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとされている制度です。

今般、長野県地域最低賃金の改正に続いて、長野県内の特定の産業で働く労働者に適用される「特定(産業別)最低賃金」が以下のとおり改正されました。

なお、適用業種等の詳細については、長野県労働局ホームページでご確認ください。

対象業種	時間額(令和2年改定額)	発効年月日
計量器・測定器等製造業	916円(894円)	令和3年12月29日
はん用機械器具等製造業	927円(905円)	令和3年12月16日
各種商品小売業	879円(857円)	令和3年12月31日
※長野県地域最低賃金	877円(849円)	令和3年10月1日

お問い合わせ先 長野労働局労働基準部賃金室 ☎026(223)0555

信濃川水系河川整備計画(変更原案)に対する意見募集について

このたびは国土交通省千曲川河川事務所では、信濃川水系の今後の川づくりについて、具体的な実施内容となる信濃川水系河川整備計画(変更原案)を作成しました。この整備計画(変更原案)に対するご意見を関係住民の皆さんから募集します。

整備計画の内容や意見募集の時期・方法等の詳細につきましては、専用ホームページ(左記QRコードから)をご確認下さい。



◆お問い合わせ先

国土交通省千曲川河川事務所調査課

☎026(227)9434



行政書士による無料相談会

長野県行政書士会松本支部では無料の相談会を開催します。

◆相談内容

遺言・相続関係に関して、ビジネスをサポートする各種申請、外国人の在留資格、日常のお困り事のお手伝い

◆会場・日時

筑北会場(筑北村役場)

令和4年2月12日(土)

午前10時から午後3時まで

安曇野会場(安曇野市役所)

令和4年2月17日(木)

午前10時から午後3時まで

松本会場(松本市勤労者福祉センター)

令和4年2月19日(土)

午前10時から午後3時まで

◆お問い合わせ先

長野県行政書士会松本支部

☎0263(87)3798



議会だより

No.143

☆議長新年のごあいさつ	16
☆12月定例会	17
☆議案等の審議結果	17
☆一般質問	18
☆第18期議員の紹介	22

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

新年のご挨拶



議長
峯村 賢治

新年あけましておめでとうございます。

日頃議会に対しましてご理解とご協力を頂き心より感謝申しあげます。

昨年を振り返りますと、コロナに始まりコロナに終わった一年ではなかったかと思いません。

1月に緊急事態宣言、

8月にもまた緊急事態宣言、そして年末にかけて鎮静化してきたか

と思うと、新たなオミクロン株の世界的流行と、ゴールの見えないマラソンレースのランナーになった気がしています。

村内では成人式・聖高原煙火大会・サマーナイトフェスティバル・



12月定例一般質問

村民運動会・体育祭・月の里収穫祭と村の公的行事が軒並み延期や中止となり、また各地区においても季節のお祭りなどが中止となり、村全体が閉塞感にさいなまれていると感じています。

今年こそはこれらが予定通り開催され、村に活気が戻ることを願うばかりです。そのような中で当村では9月に村議会議員選挙が行われ、無投票という結果となりましたが、新たに18期の村議会議員が選出されました。

12月には新たな議員構成での議会定例会が行われ、本格的に議会活動がスタートしました。各議員においては自らの公約に基づき、議員活動に邁進いたします。

また、同月には村長選が実施され、塚原勝幸氏が当選し、議会も村長も新しい顔に一新されます。継続か刷新かが村長選の大きな争点となりましたが、結果として3期12年にわたる高野村政が村民の皆様信任されたことと思えます。

この中で特筆すべきは、地方交付税や国・県の支出金に依存度が高い当村の一般会計予算の歳入の中で、令和2年度は若者定住住宅や移住定住促進住宅の建設による人口の社会増が、国の地域再生事業費の項目に該当し、地方交付税が6200万円増額となって事業の執行に寄与することとなったことです。

1月16日より塚原村政に移行しますが、高野村政を継承し発展させるとの公約をもとに

副議長	茂木 泰男
議員	飯森 茂孝
〃	塚原 利彦
〃	宮下 朗
〃	飯森 寛志
〃	宮川 秀俊
〃	清水 清

12月定例議会

12月定例会は、村長選挙との兼ね合いから、例年より早く12月3日に開会し、10日までの会期で開催された。

コロナに加えインフルエンザなど感染症が心配される時期であることから、予防対策を十分にとり開催した。

本会議2日目に行った一般質問も通常より10分短縮し、45分間とし、随時休憩をさみ換気を行うなど対策をとった。

本会議第1日目は、

- ・承認案件 1件
 - ・条例の制定及び改正 3件
 - ・令和3年度補正予算 4件
- の合計8件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。

このうち一般会計の補正予算では、新型コロナウイルスワクチン3回目接種に向けた体制確保の不足額として76万9千円が計上された。この経費については全額国からの補助がなされるものである。

加えて急激な原油価格高騰に伴う生活支援として燃料購入商品券に係る費用として915万円計上された。

その他、保育園・小学校・中学校においてコロナ対策として必要な消耗品等として80万円が計上されるなど、長引くコロナ禍のなかで必要な経費も増大してきている。

また、コロナの影響で開催が出来なかった敬老会や月の里収穫祭、別荘交流会に加え公民館事業

などの減額も多く、コロナ禍の影響を色濃く反映する補正内容となった。

本会議2日目の7日には、一般質問を行い、7名の議員が村政の執行状況や今後の方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

今回は10月からの議員にとっては初めての質問となり、若干の緊張も見られたものの、事業の進捗確認や提言など細かな部分にも質問が及んだ。

また高野村長にとっても任期中最後となる一般質問であり、3期12年の村営運営の振り返りを求める質問も3名の議員よりなされた。

本会議3日目である10日は、第1日目に上程した案件に加え、子育て世帯に対する臨時給付金を年内に支払うための経費の補正予算と、人権擁護委員の推薦に対し意見を求める諮問が追加上程され、審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

専決処分の承認

○一般会計補正

(第6号)

条例の制定・改正

○国民健康保険条例の一部改正

○国民健康保険税条例の一部改正

○移住定住促進住宅管理条例の一部改正

その他

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(諮問)

令和3年度補正予算

○一般会計補正

(第6、8号)

○住宅団地分譲事業特別会計補正

(第2号)

○下水道事業特別会計補正

(第3号)

○水道事業特別会計補正 (第3号)

議員発議

○議会議員の派遣

閉会中
所掌事務調査

○議会の運営に関する事項 (議会運営委員会)

12月定例会 【議案等の審議結果】

*案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

案件種別	議案番号	名 称	議員名と賛否						
			飯森茂孝	塚原利彦	宮下朗	茂木泰男	飯森寛志	宮川秀俊	清水清
議案	議案1号	麻績村国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	麻績村国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	麻績村移住定住促進住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	令和3年度 一般会計補正予算 (第7号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案5号	令和3年度 住宅団地分譲事業特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案6号	令和3年度 下水道事業特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案7号	令和3年度 水道事業特別会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案8号	令和3年度 一般会計補正予算 (第8号)	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認1号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度 麻績村一般会計補正予算 第6号)	○	○	○	○	○	○	○
諮問	諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○

一 般 質 問

質問事項

飯森 茂孝

- 通学路の安全確保の取り組みについて
- コロナ感染対策について
- 麻績村への移住相談会について
- マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)について

塚原 利彦

- 高齢者、生活困窮者に対する行政対応や福祉施策について
- 麻績村独自の教育方針について

宮下 朗

- 麻績村総合戦略・人口ビジョンについて
- 新型コロナウイルスの影響を受ける小規模事業者支援について

茂木 泰男

- 高野村政3期12年を振り返って
- 外来植物の繁茂拡大への対策は

飯森 寛志

- 森林山林整備管理について
- 気象非常事態宣言 2050ゼロカーボンについて

宮川 秀俊

- 災害発生時の対応方及び防災用品の整備について
- 若者定住促進住宅の入居者選考について
- 高野村政3期目を振り返って

清水 清

- 3期12年の高野村政を振り返って
- 新型コロナ対策
- 地域振興策としての「おみぼん」の活用
- 令和2年度決算審査 監査委員の意見書についての改善は

麻績村におけるマイナンバーカードの住民保有率と今後の推進計画は

マイナンバーカードの住民保有率は 11月1日現在25.7%である



飯森 茂孝 議員

問 国内では3人に1人が、マイナンバーカードを保有されていると言われている。ポイント付加によるテレビコマercialも盛んに行われているところだが、麻績村におけるマイナンバーカードの住民保有率と今後の推進計画について尋ねる。

答 マイナンバーカードの住民保有率と推進計画については、令和3年11月1日現在の交付率は、25.7%となっている。令和3年11月1日現在の人口26,688人に対して、交付枚数が6,877枚である。推進計画については明確にしているが、オンライン申請が難しい高齢者に対しては、皆様が集まる行事に職員が出向き手続の方法な



どを説明し、申請の支援を行う様になっている。若者世代については、成人式などのあらゆる機会をとらえて、国が作成した啓発資料を使いカード取得を促していきたい。また「ホット情報おみ」へも関連記事を掲載している。

問 4人に1人という状態の保有率であることと健康保険証としても利用できるメリットがあると言う事だが、麻績村としての最終的な目標値は何%ぐらいか。

答 村独自の目標ではないが、国からは令和5年3月31日までに全国民の取得を目指しているところであり、それに従って村も推進を進めてゆく考えである。

「麻績村独自の教育方針」のまとめや方針内容の公表は

館報等で報告しており、あらためて周知は行わない



塚原 利彦 議員

問 「麻績村独自の教育方針」の研究・検討が3部会に分かれて行われてきたが、すでに村単位の学校運営となつて1年9か月が過ぎた。最終的なまとめや村民への提示はどうなっているのか。

答 これは、まとめや提言を行う会議ではなく、関連会議への助言等を行うことで事業の推進に役立たせる事を目標に行ってきた。研究検討委員会は3部会を設けて、予算措置の必要なもの、必要のない改善等、個々の事業の洗い出しを行って、できることから実施してきており、各事業ごとにその内容の周知に向けて館報等で報告してきた。

問 方針としてまとめられ、冊子等になって公表されると思っている。その点をどう考えるか。

答 これまで個々の事業については、それぞれ報告してきている。例を挙げると、一貫教育については毎年度、保小・中の保護者に対してリーフレットを渡していること、小学校では4日間の中学校体験を、保育園では今年、小学校1日体験を行ったこと、生涯教育に関しても、村の文化財について各地区的協力もいただき勉強会を開いており、地域の皆さんにも理解がされていると考える。このように個々の事業について報告をしてきており、あらためての周知は考えていない。

問 再度確認するが、この「麻績村独自の教育方針」は、これまで行ってきた事をまとめ、新たな方針として公表したり、冊子化するようなものではないか。

答 そういう事である。

住宅リフォーム券導入の考えは

村内事業者と協議し検討する



宮下 朗 議員

問 今後の新型コロナウイルス感染症対策における、村内建築関係事業者の支援も兼ねた住宅リフォーム券導入の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内においても地域経済の活性化及び居住環境の向上を目的として、住宅などリフォーム工事に對して商品券を発行している。当村においては、村内の事業者にアンケート調査を行い、この調査を元に商工会と協議し影響の多い事業者に支援を実施した。今後は商工会と協議し、支援の必要などところに必要な支援施策を検討する。

問 近隣市町村におい

ては、コロナ以前より10%から20%程度の住宅リフォーム補助を実施している自治体が多いが、当村においては対象が高齢者と障害者に限定されている。現在麻績村では、本町の若者定住住宅、小東の移住定住促進住宅の建設等を行っているが既存住宅への定住促進も重要と考える。住宅リフォーム補助を全村民対象に常設化する考えは。

答 リフォームの関係で商品券を出したり、リフォーム券を出して助成をしている市町村があることは認識している。麻績村としてはそういったことをこれから検討し、その状況を把握する中で進めていく。



村長3期12年での記憶に残る事業や政策課題は

多くの事業を実施した。 道半ばの課題は新リーダーに期待する



茂木 泰男 議員

問 村長3期12年間で振り返り、記憶に残る事業や課題は。

答 就任当時から記憶をたどると大きな出来事が約70項目程ある。まずは明治期に築造された若沢川石積堰堤の保全ができ、これが国の登録有形文化財の指定を受けたこと。歴代4代の村長の懸案事項であった聖高原の大型廃屋施設の権利解消と解体が、6年の歳月を要し完了したこと。麻績小学校で独自の特別支援学級が教育委員会の努力により開設されたこと。天皇皇后両陛下の来村時にお食事にお招きいただき、両陛下の優しいお心に触れさせていただいたこと。若者住宅の整備に入居希望者が2倍以上に増

え、時代のニーズがつかめたこと。第二公民館の整備により地域のコミュニティ拠点ができ、今後テレワークセンターとして利用率の向上が期待できること。高畑野口線の整備で大型車両が入れる様になり、地域の安心安全が確保出来たことなどがある。残念な事は、筑北村との学校統合問題でお互いの住民の意見や考えが一致出来なかつたことである。課題としては今の事業が全て完成形ではなく道半ばの事業もあり、新リーダーにこの課題解決に全力を取り組んでくれることを期待している。

問 退任にあたり心境は。

答 退任まで40日余り、麻績村は無限の可能性を秘めており村民が一つになり発展していくことを期待している。

麻績村における森林山林の整備管理は

現在、森林経営管理制度の実施方針を作成している



飯森 寛志 議員

問 麻績村の森林経営管理制度の進捗状況は。

答 現時点においては、森林経営管理している森林はない。現在、当村における森林経営管理制度実施方針を作成しているところである。

問 聖山山麓にある7箇所の水源地への対応は。

答 水源地の多くが保安林の指定であり、県により村対応の森林経営制度には入らない場所のため、引き続き県の事業で実施していくよう村からお願いする形で進めていきたい。

問 森林経営管理制度を進めていく場合の障害は。

答 所有者不明の森林がある。土地台帳の所

有者に連絡がとれない。また、林地台帳で共有になっており共有者の一部不明、死亡、相続人が不明などで連絡が取れない、これについては追跡調査を行う。当村でも所有者、共有者不明森林が散見されており、事業実施において支障となっている。当村のような小規模な自治体では林業に関する専門知識、技術を持つ職員がおらず、林業担当職員が複数の職務を兼務しており、森林経営管理業務に専念できていない。事業実施に当たっては、初めは小エリアでモデル的に実施し、ノウハウを得ながら順次進めていく必要がある。



災害発生時の対応や防災用品の整備状況は

自助・共助・公助の連携体制が必要



宮川 秀俊 議員

問 被災箇所を想定した現場から、役場庁舎への情報伝達訓練は行われているか。

答 具体的な内容での訓練はできていない。防災行政無線活用と災害医療救護所の訓練は行っている。

問 情報通信手段として、自治体専用のビジネスチャットを導入・整備の考えは。

答 大規模災害になると電話がつながりにくくなることもあり、検討はしていくが、今は防災行政無線の更新・回線確保、映像送信可能な機種等コスト面も含め情報収集しながら機種選定をしているところだ。

問 大規模災害時のトイレ対策として「マンホールトイレ」を導入している自治体が県内では22市町村あるが、

緊急避難所に必要ではないか。

答 国交省から整備運用のためのガイドラインが出ている。大規模災害を想定し、以前、担当課と設置について協議した経過がある。

村内は複雑な地形であり、下流域の管路ポンプなどの施設状況、水源等課題が多い。今後検討していきたい。

問 災害用備蓄品の非常食として高齢者、アレルギー症者用の備蓄状況は。

答 災害発生時における食料は、自分の命は自分で守るという防災の基本により、各家庭において3日から1週間分程度の備蓄が推奨されている。自助、地域で協力して食糧の確保をする共助、公的備蓄や協定による食糧確保の提供など複数の活動を連携して行う必要がある。アレルギー対応食については緊急時の混乱の中で管理が複雑となり、トラブル発生の要因となることも考えられる。全て行政で用意することは難しい。

3期12年の高野村政の自己評価は

点数をつけるとすれば5点評価で4点くらい



清水 清 議員

問 職員時代から麻績村の歴史的な大プロジェクト事業に関わり、長野自動車道開設に伴う用地交渉をはじめ、数え切れない難問解決に努められた事を身近で見えてきた。その後、第6代村長に就任され、12年間村のトップリーダーとして手腕を振るわれた。その間の自己評価と、新村長に望む事は。

答 麻績村に一人でも多くの若者に住んで頂くための住環境、子育て教育環境の整備、高齢者の安心・安全のための福祉の充実としての福祉施設の対応、若い人達が興味を示す観光に対しての施設の整備を進めた。歴史的遺産が多い村の中の文化・並びに文

化財の保存等にも力を注ぎ、また農業後継者も大きな問題であったため、法人化方向で一歩踏み出すことが出来た。

やり足りないところは、沢山あるが、12年間に点数をつけるとすれば5点評価で4点くらいかなと思っっている。それから新村長には、進めてきた事業は、最終地点にはいつていないので、継続・一部改善させ、更に発展していくよう望む。



議員紹介～

麻績村議会第18期議員の活動は令和3年10月より始まっていますが、9月の議会議員選挙が無投票であったことにより、それぞれの公約が掲載された「選挙公報」は発行されませんでした。

そこで、今回議員活動に向けての抱負などを掲載し、議員の紹介とさせていただきます。

峯村 賢治 議員

17期の議員活動を振り返って、4年間に何ができたかを考えてみますと、

○放課後児童クラブへのエアコンの設置。
○けやき公園の改修整備。

○各区への発電機の配備。

○防災備蓄品の拡充。

○公債費(村債)の繰り上げ返済。

○たい肥化施設の経費の縮減。

これらは幾度もの一般質問において、村民の皆さんの声や、行政を精査する中で、村と問題点を共有し実施できた主なものです。

18期も、皆さんの声に耳を傾け、安心安全で暮らしやすい村づくりの一助となるべく尽力いたします。

茂木 泰男 議員

一期4年間の議員活動を務め行政の役割、責任の重さを感じる中で、議員として村民のどんな小さなことにも耳を傾け声を届ける事を重点的に活動して村づくりに反映してきました。今後四年間の議員活動の中で、村民に對してこどもや高齢者や障害者にやさしい福祉の充実、人口減少對

策、災害對策、子育て支援等について村政に對して提言し、麻績に住んで良かったと言われる住民参加の村づくりの推進に力をいれたいと考えています。又健全な財政運営又魅力ある村づくりに努力します。

飯森 茂孝 議員

私は、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して住民と協働の村づくりに全力を尽くす決意です。

特に福祉企業センターと山ぼうし作業所の早期建設、子育て支援策として保育施設を利用する子育て世帯の経済的負担を軽減するための副食費の無料化。筑北地域全体の公共交通の充実。教育の質を向上し、子供たちが誇りを持てる村づくりをめざします。

塚原 利彦 議員

2年にも及ぶコロナ禍により、多くの方が我慢と苦しみを強いられました。いのち優先の政治があらためて求められています。暮らし・福祉・子育てを第一に、村民の皆さんの声を聴き議会に届けるため全力を尽くします。〈対応が急がれる大きな課題〉

○学校統合の協議(特に中学校)を早急に進めること。

○若者定住に向けた具体的施策の策定。

〈ご要望が多く、力を入れた課題〉

○通勤、通学への支援

○公共交通の改善充実

○保育園、小中学校の給食費無料化

○加齢性難聴者への補聴器購入費補助

○働き場所、雇用對策に繋がる地域振興

宮下 朗 議員

『小さくともキラリと輝く明るい村を目指して』

少子高齢化が急速に進み、人口が2600人を割り込み、麻績村も大変厳しい時代に入りました。しかし、この村が好き、住みたい、ここで子どもを育てたい!そんな村づくりを目指したいと思います。そのため私がこれから取り組むことは次のことです。

*安心・安全な村づくり(地域ネットワークの強化)

*教育力の向上(ITの活用・地域との連携)

*コロナに負けない村づくり(経済との両立)

*空き家・空き店舗の活用(移住・起業の促進)

*地場産業の活性化

(農工商連携の新しい形)

い形)

これからの議員活動に向けて

～麻績村議会第18期

＊遊休農地の活用（新規就農者の促進）

＊自然・歴史遺産の保護継承（後世に繋ぐ）

これらの施策を進める中で村民の皆様との対話を通して「小さくともキラリと光る明るい村」を目指して鋭意努力していく所存です。で、4年間よろしくお願いたします。

飯森 寛志 議員

安心、安全で楽しく生活できる麻績村を目指します。

・荒廃していく村内・隣接地の森林山林の整備管理を実施します。

森林山林管理は管理責任者（村・民間）設定し、野生鳥獣（イノシシ・鹿・熊）対策は猟友会と連携し狩猟、駆除実施しながら適正頭数を目指していきます。

・中山間地・荒廃地の再生と活用を進めていきます。

登記台帳は現状を維持とし、畑を利用しやすく集積・集約し整備していきます。

・少子化対策として、若者への移住定住の促進を進めていきます。

利用可能な現空き家の登録、整備、管理、税制低減等を実施、適用して、移住・定住希望者が利用しやすくしていきます。

宮川 秀俊 議員

昨年、任期を迎えた東筑北部3村の議会議員選挙で無投票となったのは、麻績村のみでした。地方議員のなり手不足解消のためには、身近な村政への関心度をいかに高めていくか、立候補しやすい環境の醸成が重要であると思

います。私は2期目の目指すべきこととして、

①議会基本条例の制定
議会改革、議会活性化のために報告会、意見交換会の実施。

②男女共同参画条例の制定
各種審議会委員の構成を見直し、現在の計画からステップアップを図り、家庭での役割分担、社会参加を促していく。

③高齢者に優しいデマンドタクシーの導入、高齢化、免許返納による移動手段の確保。

④インター周辺へ企業誘致
若年者の流出を防止、働き場の確保。

⑤中学校の早期統合
児童生徒数の減少により教育環境を整備。

⑥松本山雅FCのホームタウンを目指し地域の活性化につなげる。

清水 清 議員

村民が主人公の村づくり
村民益を求めて私の決意
◆人口減少の歯止めをむけて

現在麻績村の人口は約2,600人。20年後の人口統計では1,700人と予想されており、喫緊の大きな課題であり子育て世代が住みたくなくなるような対策に取組みたい。

◆3つの支援の充実（人に投資）
・子育て支援 子育てをする親の支援であり抱える悩みなどの相談システム等の充実
・障がい者支援 社会参加しやすい環境

整備

・高齢者支援 健康寿命の延伸、介護施設の利用

◆村内道路網の整備

・国道403号下井堀西く中島橋

・道路改良（坂北村境）
・国道403号本町く聖高原

◆道路改良工事

◆教育問題 少子化による今後の教育体制の危機管理

◆観光・地域振興事業
◆農業（荒廃地対策・鳥獣対策）

◆林業（松枯対策）
安心・安全な住みよい村づくりに努力いたします。

編集委員

飯森 茂孝
塚原 利彦
宮下 朗
茂木 泰男

冬の出来事



▲令和2年度 成人式(令和4年1月9日開催)



▲令和3年度 成人式(令和4年1月9日開催)



▲高野忠房村長 退任式



▲麻績保育園 どんど焼き



▲シェーンガルテンおみ 光のページェント